

かすみ 懲獄行

**ABURA
KATABURA**
SINCE 1995

この物語は、二人の異母姉妹の
ほんの少しの心のすれ違いが
おこした悲劇…

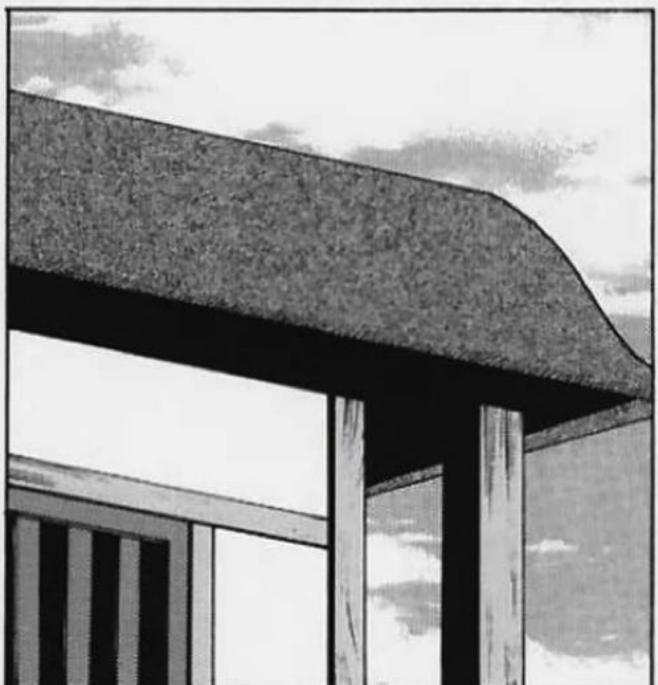
姉かすみは、兄の仇を討つために
望んで、抜け忍となるが、
結果として、天狗万骨坊の
奸計にはまり

その兄を自らの殺めてしまうのだが、
全てを画策した

万骨坊を倒すことで

その名声は世界中にとってろく事となり
そのジレンマに苛まれる…

一方、妹あやねは
古来からのしがらみにどうわかれず
自由に逞しく生きる
さながら可憐なヒロインのような
姉に、ずっと羨望と憎しみの
眼差しで見続けてきたためか
それでもなお、
輝き続ける姉を許す事が
できなかつた…



前作のあらすじ

異母姉、かすみが逃避行の中で
異母妹、あやねが密かに心をよせていた
自分の兄、疾風を
故意ならずとも、その手にかけたことで
運命は狂々と廻りはじめた…

かすみ懲獄行

かすみは、あやねの計画した
自らを捕獲するための罠に
あえてはまる」とで
自分の罪を精算しようと考えたが
そこに待っていたのは、
想像した以上の屈辱と凌辱、暴行、拷問
ゴミ同然の肉奴隸としての毎日であった…

しかしながら
その悲惨な日々の中にあつて
かすみは改めて、あやねの
自分に対する憎しみの深さを
知るのだった：

…そう、憎しみの深さだけを…

一方、かすみのくの一としての名声と
疾風を殺めたという事実は
今なお、あやねの心を
追いつめていくのである…

そう、二人の心は、今なお安まる
ことはなかつたのである…

…前作「かすみ地獄変」ってそんな話だったけ？
といった的確な野次はお断り(笑)



ん？ オレ様の前に
先客がいるのかい
相変わらずの
人気者ぶりだねえ

ひぐう

ハハハ

おうツ、兄貴
先にいただいてやすツ
ひひひ
早起きした甲斐が
あるつてもんだ

じやあ、オレ様は
霞ちゃんの
かわいいお口で
ご奉仕してもらおうか

あつ…

よーし、いい子だ
もう、前みたいに
粹がつて嘔むんじや
ねえぞ

ぎやはは、いくら
巨乳バカのコイツ
でも、それぐらいの
学習能力ぐらい
あるだろ

そりやそりや
霞ツ、非道い目に
遭いたくなかったら
しつかり、しゃぶつて
くれよ



でも兄貴ツ、今でも
頭領の娘とは
思えないぐいらいに
充分非道い待遇
ですぜツ

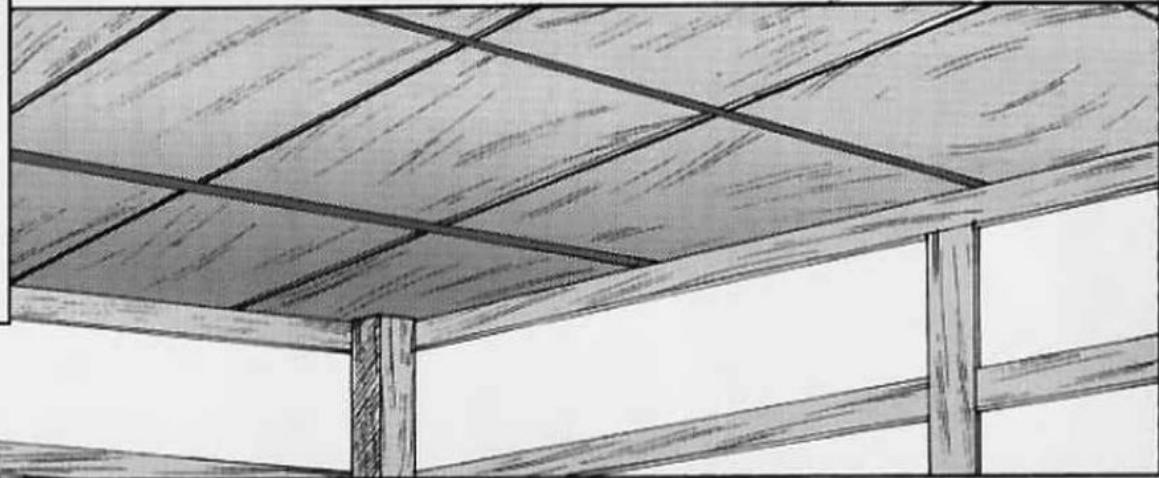
うはははーツ
確かにな
でも、生かされてる
だけでも
感謝して欲しいぜ





さあ、今度は
オレ達のモノを
慰めてくれよ
お便所くの一ちゃん

私の全て…
軸だけでなく
心までも



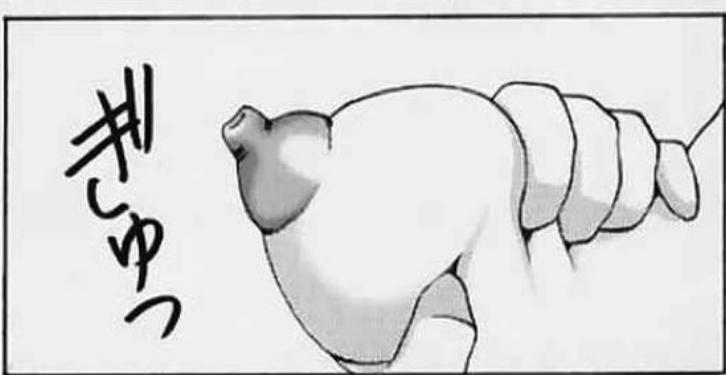
ひひひ、最近おしりの
方も敏感になってきたね
ゲイゲイ締め付けて
くるよ



：じいさんの方は
いいよな

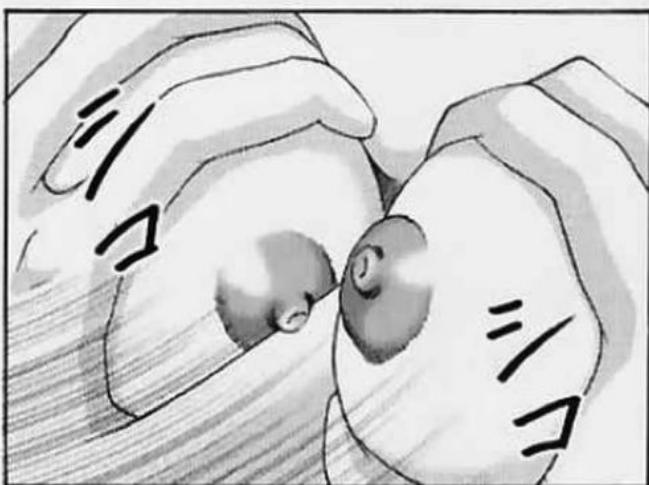


おつ、いい事言う
じゃないか
さしつめ異母姉妹の
コイツは、あやね様の
代用品つてどこか





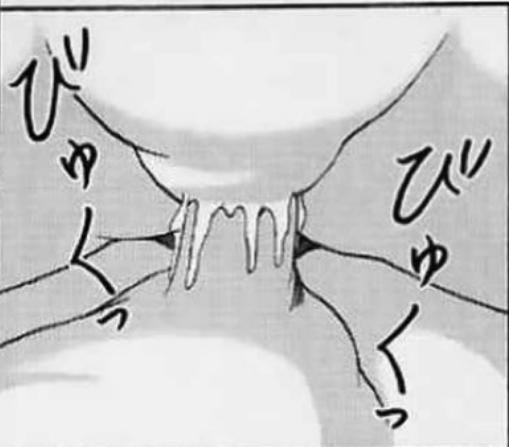
さすがに、ご自慢の
巨乳だけは、まだまだ
揉みこたえがあつて
征服しがいがあるな

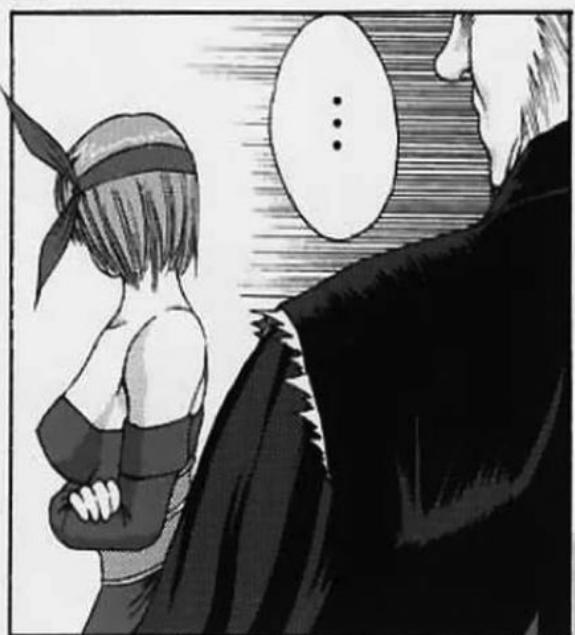




：私は、私をこんな目に遭わせたあやねの事を憎んでいた…はずだったでも、私は本当は分かつていたあやねをここまで追いつめた原因が私自身にある事を…その報いを今受けている事を…

汚らしい男根から
放たれる
この臭気と毒液を
どれだけ身に纏つて
消し去る事のできない
罪悪感……





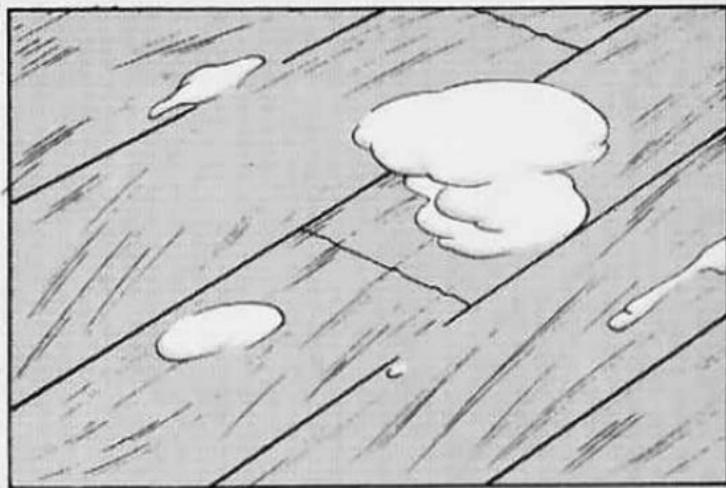


悪いね
その首もらうよッ





身も心も蹂躪され尽くし
薄れゆく意識の中…
下忍達の白濁液の臭氣で
この部屋が満たされる頃
今日の凌辱が
終わりを告げる事に気付く





獣欲の掃き溜めでしかない
私は、もうどうなつても
かまわないの…
この屈辱…
どこまでも堕ちていくの…
そう、今は…
ただ…ただ

手すりせよ
さすが、我が影を
倒しただけの事はある



今頃、あやね
どうしてるかな…
あなたの幸せを見
つけられたかな?
もう、私を意識する
必要もないし
無理して背伸びしなくとも
いいんだよ…

エッ? 誰がエロ天狗だあ?
この腐れ○ンコが
でかい口ききよつてツ
たつぶりと
犯りまくつてから
ゆつくりと屈辱の中で
嬲り殺してくれるわツ





神様…
お願いです
私の分も、あやねに祝福を…
この十六年間、一度も
休まることのなかつた
彼女の心に安らぎを…

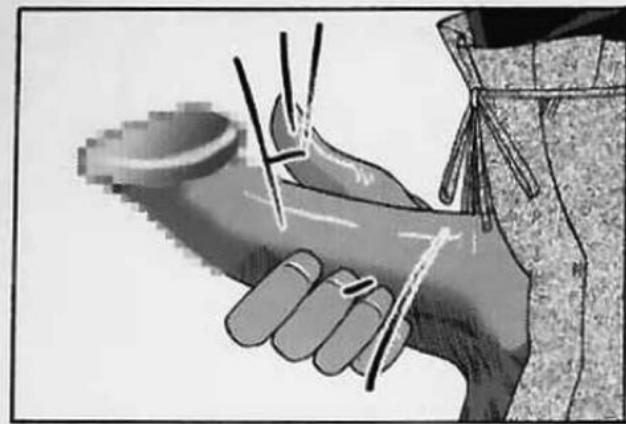


ふん、今の間にせいぜい
吠えておくんだな
いつか、お前を必ず
殺してやるッ



惨めな末路…
ゲス共の慰め者でしかない
わたしのようには
ならないでね…
ふふ、あなたに限つて
そんな心配はいらないよね







あ、あううう
ち、畜生ーっ
ビュクビュク流れ
こんでくるうッ

疾風様のために今まで大切に
守り抜いてきた純潔を
こんなクソ野郎に奪われたうえに
初体験で膣内射精されるなんて…
霞のフリなんかしなければ…
いやッ、元はと言えば霞が
天狗なんかと戦つたからだッ
アイツは肉便所に成り果ててまでも
また私を苦しめるッ



今頃泣き出しても
もう遅いわッ
これだけ射精されれば
天狗様の子を孕んだ
かもしけんない
ヒヤーハツハツハツ



あつい…
お腹の中が
あついよおおお









ひひひ
なあに、そんなに
面倒な事じやない
貴様が天狗様の乳奴隸
だと言うことの証として
乳首に穴を
開けるだけだ

なつ?

随分と大人しく
なってきたようだが
貴様が負け犬だと言う
事を、ハッキリと
その乳に刻みませで
もらうぞ



翌日…





お、おい
お前達…下忍の分際で
さつきから何をそんなに
蔑むような目で
こっちを見ているんだ
は、早く、助けないか…
…た、助けてくれるんだろう?

To be continued...

哀れな異母姉妹に
引導を…

For ADULT Only